

6週 人間創造

質問 10. 神が人を、どのように創造されましたか。

答え I 神は人を、男と女とに造られ、ご自身の形に従い、知識と義と聖として創造し、すべての被造物を支配するようにされました。

解説

男と女

神が人間を男と女とに造られたのは、互いに助け合い繁栄させるためでした（創 1:27-28）。神はアダムを造られる時にはチリから取って造り、エバはアダムのあばら骨によって造りました。その理由は、アダムとエバの結合に対する目的があったからです（創 2:18）。アダムは確かにそれを感じていました（創 2:23）。しかし確かなのは、エバの霊魂はアダムから造られたのではなく、神さまが直接造ったことです。

霊魂と体

人は霊魂と体で構成されています。霊魂は、神が体に息を吹き入れた霊的実体です(創2:7)。それで神を「すべての霊の父」と呼ぶのです(ヘブル12:9、民16:22, 27:16)。人の霊魂はすべての面で体とは異なります。体は目に見えるが、霊魂は目に見えませんが、霊魂は死にません。

聖書には、人は、霊、魂、体と構成されているように語る聖句があります(1テサロニケ5:23、ヘブル4:12)。しかし、ルカの福音書10章27節によれば、人を、心と霊魂の構成だと語っているが、それは、他の構成体を意味するものではありません。従って、このような聖句をもって、三分節を主張するのは無理があります。

神の形

人が神の形に造られたというのは、神に似せて、あるいは、類似に造られたということです(創1:26)。そうだと行って、神が肉体の形があると考えてはなりません。神の形で造られたという言葉は、人の霊魂が、知識と義と聖において神に似ているという意味です(コロサイ3:10、エペソ4:24)。

従って人は、初めに造られた時は義を持っていて、その悟りには知識がありました。つまり、その意志には正義があり、その情緒には聖さがありました。また人は神に対する知識があつて、神の法に対する知識と、すべての万物に対する知識もありました。さらにその意志は、正しいことと義務を行おうとする自発性がありました。そして、その感情は純粹で清かった。それゆえ、神をまことに、純粹に愛することができ、その人が慕い求めることは唯一の神だけでした。このように人間は、神を人生の最高の目的とし、ただ神を喜び楽しみました。

被造物を支配せよ、という命令

神は人に、すべての被造物を支配する権威を与えられた。もちろん人間は、道

徳的で靈的な存在として、卓越な存在だったので、自分自身の意志や情緒を支配することができ、他の劣等な被造物を治めることができました。人間が墮落する以前は、この世のすべての被造物は、人に服従していた。

墮落が、もたらした効果

人は知的でありながら責任ある存在でした。しかし、墮落以降は、神が付与した知識、義、聖を完全に失ってしまいました。さらにアダムの子孫であるすべての人類は、それを完全に失った状態で、生まれながら腐敗性を持つようになりました。ただ、聖霊の、新生させる御業によらなければ人間は靈的なものを選ぶこともできず、選べません。特に、神と関連して人は、神に仕えることを断り、嫌います。そして人間の意志は常に悪に偏っている。自分は善をしたいと願っても、それを行うことができません。ただ新生によって、このような腐敗された奴隷から解放されなければならないのです。